

2018年4月6日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株式会社三菱 UFJ 銀行

保有株式の売却について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 平野 信行^{ひらの のぶゆき} 以下、MUFG）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承^{みけ かねつぐ} 以下、当行）は、保有するブラジルの総合金融グループである Banco Bradesco SA（以下、ブラデスコ銀行）の株式を一部売却いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式売却の内容

売却株数	41,718,620 株
売却日	2018年4月6日
売却後保有株数	41,999,115 株
売却額	約 1,411 百万リアル（約 453 億円）

2. 株式売却の理由

MUFG は、2017 年 5 月 15 日に公表しました「MUFG 再創造イニシアティブ」において掲げた「生産性向上に向けたイニシアティブ」の施策の一つとして、国際金融規制の強化やグローバルな事業環境の変化に対応すべく、資本運営の最適化を進めております。このような背景の下、MUFG グループ各社による戦略出資に関しては、その戦略性や資本効率等の観点から見直しを行っております。

今回、株式を売却することになったブラデスコ銀行は、南米を代表する総合金融グループであり、1973 年に当行の前身である旧三和銀行がブラデスコ銀行に出資して以来、40 年以上に亘って強固な関係を構築してまいりました。

今般、MUFG および当行を取り巻く環境変化を踏まえ慎重な検討を重ねた結果、株式保有比率を引き下げる結論に至りましたが、ブラデスコ銀行とは幅広い分野において協働しており、昨年 9 月 1 日には、未来志向での協働の枠組みを維持・発展すべく、ブラデスコ銀行との間で新たな業務提携契約を締結するなど、同行が当行にとって南米地域における重要な提携パートナーであるという位置付けは不変です。

当行は、1919年に東京銀行の前身、横浜正金銀行がリオデジャネイロに邦銀初の支店を開設して以来、約100年にわたりブラジルで活動されるお客さまを支援してまいりました。同地域では邦銀随一の体制を有しており、引き続き、当行現地法人であるMUFGBANK（ブラジル）も含め当地に根差した金融サービスを拡充し、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

3. 業績に与える影響

本株式売却がMUFGBANKおよび当行の当期の業績に与える影響は軽微です。

以 上